

個々の問題の出題の意図及びその正答率

数学 中学校 第1学年

領域	問題番号			出題の意図	評価の観点			正答率	
	大問	小問	通番		見方や考え方	表現・処理	知識・理解		
数と式	1	1	1	正の数、負の数の分数を含む加減の計算をすることができる。		○		73.4	
		2	2	正の数、負の数の累乗を含む乗法の計算をすることができる。		○		76.7	
		3	3	正の数、負の数の分数を含む除法の計算をすることができる。		○		72.1	
		4	4	正の数、負の数の減法と除法の混じった式の計算をすることができる。		○		66.4	
		5	5	1次式の項をまとめて計算することができる。		○		70.9	
		6	6	分配法則を使ってかっこをはずし1次式の計算をすることができる。		○		59.6	
	2	1	7	負の数の大小関係を理解している。			○	79.4	
		2	8	加減の混じった式を加法だけの式になおす計算の仕方を理解している。			○	86.1	
	3	1	9	文字式を書くときの約束を理解している。			○	77.3	
		2	10	文字に数を代入して、式の値を求めることができる。		○		77.3	
		3	11	文字を使った式の表す意味を考慮することができる。	○			59.8	
	4	1	12	方程式が等式の性質を使って変形できることを理解している。			○	61.3	
		2	13	1次方程式を解くことができる。		○		73.6	
	5	1	14	問題の数量関係を表す線分図として適切なものを考えることができる。	○			46.4	
		2	15	方程式をつくるため、問題の数量を関連付けて考えることができる。	○			72.9	
			16	方程式を解いて、問題の答えを求めることができる。		○		68.8	
	6	1	17	ご石の数の求め方を、文字式を使って説明することができる。	○			56.4	
		2	18	ご石の数を求める式から、ご石の求め方を説明することができる。	○			61.8	
	数量関係	7	1	19	平面上の点の位置を表す方法として座標の意味を理解している。			○	83.6
			2	20	比例のグラフから式の求め方を考え、関係を式で表すことができる。	○			41.2
		8	1	21	比例で、 x の値に対応する y の値を求めることができる。		○		54.6
2			22	比例定数が分数のグラフをかくことができる。		○		65.4	
9		1	23	反比例で、 x の値に対応する y の値を求めることができる。		○		84.6	
		2	24	反比例のグラフの特徴を理解している。			○	79.9	
10		1	25	具体的な事象の関係を式で表すために、比例の考え方を利用できる。	○			70.7	
		2	26	変域のある比例の関係で、 x と y の変域を考え、不等号を使って表すことができる。	○			78.0	